

## 第5学年国語科学習指導案

日時 平成15年9月2日(火) 5校時  
児童 5年2組男14名 女13名 計27名  
指導者 藤 島 洋 介

- 1 単元名 地球環境について考えよう (総合) 教材名「一秒が一年をこわす」  
教材名「ホタルのすむ水辺」  
教材名「子ども環境会議を開こう」

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

児童はこれまで、「読むこと」では、「海にねむる未来」の学習をした。そこでは、文章の内容を的確に押さえながら、意味段落の中心的事柄をとらえ、段落相互の関係をつかみ、文章全体の要旨をとらえる学習をしてきた。学び方が身に付いてきた単元の後半では、一人で読み取って意味段落の中心的事柄をまとめることができるようになってきた。見通しをもった学習には、大変意欲的で十分に力を発揮できる児童がほとんどである。しかし、5年生になって一つ目の説明文の学習で、読み取り方が十分に身に付いているとは言えず、教材や文章構成の型が変わると戸惑う児童が多いことが予想される。また、接続語や指示語、文末表現に気を付けて、叙述に即して読むことができず、自分の思いだけで読む児童も見られる。

「話すこと・聞くこと」では、「インタビュー名人になろう」の学習やスピーチ活動で、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すことや話し手の意図を考えながら話の内容を聞くことを学習してきた。インタビュー名人では、キャンプのテーマを決めるために6年生にインタビューするという具体的な場面で、目的意識をもって話したり聞いたりする学習をしてきた。スピーチ活動では、共通のテーマを設定し、日常的に話す聞く活動を繰り返してきた。これらの学習を通して、目的をもって適切な言葉遣いで話す力や意図を考えながら聞く力が高まってきている。

#### (2) 主たる指導事項

本単元の主たる指導事項は、「読むこと」では、「目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」、「話すこと・聞くこと」では、「自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと」である。

そのために、「読むこと」では、文と文、段落相互の関係に気を付けて文章を読む力、段落の中心的事柄をとらえる力、文章全体の構成から要旨を押さえる力を、「話すこと・聞くこと」では、自分の考えをはっきりもって話す力、話し手の意図を考えながら聞く力を養っていくことが重要である。

#### (3) 指導にあたって

教材文「一年が一秒をこわす」は、地球の自然環境を守ることの大切さを訴えた説明文である。

人類は便利な生活を求めてきたために、地球が四十六億年（「一年」に例える）かけて築きあげてきた豊かな自然環境をわずか二百年（「一秒」に例える）という短い時間で破壊してしまおうとしている。もしこれ以上おごりたかぶるなら、地球からは大きなしっぺ返しを受けるだろうと筆者は、読者に環境問題について訴えている。

本教材は、15の形式段落からなり、大きく三つの意味段落で構成されている。そして、それぞれの最終段落で筆者の考えが表現を変えて繰り返し述べられている。また、筆者の考えが端的に表れる題名により、読み手に明確な課題意識をもたせることができる。

さらに、教材文「ホタルのすむ水辺」は、問題提示、事例、筆者の考えという理解しやすい尾括型の文章構成となっている。身近な自然環境の事例をもとにしているため、児童に自分たちの身の回りの環境に目を向けるきっかけとなる教材である。

このようなことから、二つの教材文は、意味段落の中心的事柄を読み取り、段落相互の関係をとりえて、文章全体の要旨を読み取ることに適していると考えられる。

二つの教材文を受けて、「子供環境会議」では、地球規模で大きく広がっている環境問題を自分の足元に存在する身近な問題として焦点化し、自分で身の回りから資料を集めたりして地球環境問題について話し合えるようになっている。

このようなことから、自分の考えを広げたり深めたりするために、つくった資料を提示しながらスピーチすることや、友達の考えを自分の考えと比べて聞いたりすることができる。

そこで、指導にあたっては、次のように進めたい。

- ① 「一秒が一年をこわす」の指導では、三つの意味段落のそれぞれの最終段落に筆者の主張が繰り返し述べられているので、それらを整理して文章全体の要旨をとらえていくようにする。
- ② 「一秒が一年をこわす」の指導では、接続語の使い方や数を置き換えての説明などに着目させながら、読みの技能と内容理解を一体化した指導を行うようにする。
- ③ 全体で学習の進め方を確認し、それをもとに一人学びを行わせていきたい。
- ④ 「ホテルのすむ水辺」の指導では、「一秒が一年をこわす」での地球規模での環境問題から身近な問題へと焦点化し、自分の身の回りへと目を向けさせ、調べ学習へとつなげるようにする。
- ⑤ 「子ども環境会議」を開こうの指導では、環境問題に関わる資料をもとに話し合い、環境問題に対する自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。

### 3 単元目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ 地球環境について考えながら文章を読み、自分の課題について調べ、発表の方法を工夫しようとしている。

#### (2) 読むこと

- ・ 地球環境について考えるという目的で文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえることができる。(イ)

#### (3) 話すこと・聞くこと

- ・ 環境問題に対する自分の考えをはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。(ウ)

#### (4) 言語事項

- ・ 必要な語句について辞書を利用して調べることができる。(ウのウ)

### 4 単元の評価規準

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ 地球環境について考えながら文章を読み、自分の課題について調べ、相手に分かりやすい資料を作成したり、発表の方法を工夫したりしようとしている。

#### (2) 読むこと

- ・ 地球環境について考えるという目的で事実と意見を区別しながら、地球環境の悪化に対する筆者の考えをとらえている。

#### (3) 話すこと・聞くこと

- ・ よりよい発表にするために、環境問題に対する自分の考えをはっきりさせながら、発表、話し合いを繰り返している。

#### (4) 言語事項

- ・ 地球環境に関わる専門用語等、意味が難解な語句について辞書を利用して調べている。

4 学習指導計画（16時間扱い）

段階	学習課題	学習活動と時間	評価規準
みとおす	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三つの教材から、単元の学習のめあてをもと。</li> <li>○「一秒が一年をこわす」の学習計画を立てよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの教材で人類の課題について考え、地球環境という視点から自分たちの生活に目を向けて課題を見つけ、話し合うという単元の学習のめあてをもつ。（0.5）</li> <li>・「一秒が一年をこわす」の学習計画を立てる。（1.5）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境について考えていくという話題に興味をもち、文章を読もうとしている。</li> <li>・学習計画の立て方を理解し、学習課題を考えている。</li> </ul>
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筆者は、地球環境についてどんな考えをもっているのだろうか。</li> <li>○筆者は、地球環境についてどんな考えをもっているのだろうか。</li> <li>○筆者は、地球環境についてどんな考えをもっているのだろうか。</li> <li>○地球環境について自分の考えをもち友達と交流し合おう。</li> <li>○「ホテルのすむ水辺」を読み筆者の考えをとらえよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味段落1を読み、地球環境の危機的状況を読み取る（1） （本時）</li> <li>・意味段落2を読み、地球の歴史と人類の地球との付き合い方について読み取る。（1）</li> <li>・意味段落3を読み、一秒が一年をこわすことについて読み取る。（1）</li> <li>・三つの意味段落の文章構成を考え、文章全体の要旨をまとめ、自分の考えをもつ。（1）</li> <li>・ホテルの水辺を読み、筆者の意図を探る。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味段落1の筆者の考えを読み取っている。</li> <li>・意味段落2の筆者の考えを読み取っている。</li> <li>・意味段落3の筆者の考えを読み取っている。</li> <li>・3つの意味段落の要点から文章全体の要旨をとらえている。</li> <li>・段落相互の関係から文章全体の要旨を読み取っている。</li> </ul>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題について自分の調べたいことを決めよう。</li> <li>○グループを作って、調べ学習をしよう。</li> <li>○発表の準備をしよう。</li> <li>○子ども環境会議を開こう。</li> <li>○子ども環境会議のために努力したことをまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身の回りにおける環境問題のうち興味のあるものを選び、調べ学習を始める準備をする。（1）</li> <li>・自分が興味をもったことについて同じ傾向のことを調べようとしている人とグループを作って調べ学習を行う。（3）</li> <li>・自分たちの意見が伝わるように資料をまとめ、発表の準備をする。（1）</li> <li>・小グループで子ども環境会議を行い、それを見合いながら、発表内容、方法を高めていく。（3）</li> <li>・子ども環境会議のために行った情報収集、伝えるための工夫について振り返り、意見交換をする。（1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題について自分の調べたいことを決めている。</li> <li>・自分の課題に合った方法で、調べ学習を進めている。</li> <li>・相手意識、方法意識をもちながら発表資料を作っている。</li> <li>・友達の発表方法のよさを見つけたり、資料を活用して自分の考えを伝えたりしている。</li> <li>・子ども環境会議を振り返り、進んで意見交換をしている。</li> </ul>

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

- ◎ 筆者の考えが書かれている段落と事例の段落の関係をとらえながら、地球環境の悪化が、人類存続の危機的状況につながるという筆者の考えを読み取ることができる。

### (2) 展開

段階	学 習 活 動 ○ 発 問	時 間	予想される児童の 反応	教 師 の か か わ り
みとおす	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>筆者は、地球環境についてどんな考えをもっているのだろうか。</p> <p>2 学習範囲を音読し、筆者の考えが書かれている段落を予想する。</p> <p>(1) 学習範囲を音読する。</p> <p>(2) 筆者の考えが書かれている形式段落を予想する。</p> <p>○筆者の考えは形式段落の何番に書かれていると予想しますか。</p>	6分	<p>・⑧だと思います。</p>	<p>・意味段落1が8つの形式段落で構成されていることを確認し、板書で示す。</p> <p>・筆者の考えが書かれているところを見つけることを読みの視点とする。</p> <p>・便利な生活の事例、悪くなる地球の事例の2枚のカードを示し、意味段落を大きく3つに分けてとらえられるようにする。</p>
ふかめる	<p>3 地球環境について筆者の考えが書かれている形式段落⑧を視写する。</p> <p>○筆者は地球の環境は、どうなると言っていますか。</p> <p>4 地球環境の悪化の事例を読み取る。</p> <p>(1) 地球環境の悪化の原因を読み取る。</p> <p>○このままの活動とは、どんな活動ですか。</p> <p>(2) 地球環境の悪化の様子を読み取る。</p> <p>○どんな影響がでてきたのですか。</p> <p>5 段落相互の関係をとらえながら、筆者の考えを読み取る。</p> <p>(1) 段落相互の関係をとらえる。</p> <p>○4つの事例をどんな言葉でまとめていますか。</p>	10分 12分 10分	<p>・(形式段落⑧を視写)</p> <p>・森林を切り開く。</p> <p>・森林やひがたの開発。</p> <p>・資源やエネルギーを大量に使う。</p> <p>・石油や石炭を大量に消費。</p> <p>・不毛のさばくになります。</p> <p>・野生の生物が減りようとしています。</p> <p>・水や空気がよごれます。</p> <p>・二酸化炭素が増えます。</p> <p>・気温がどんどん上がっていきます。</p> <p>・活動です。</p> <p>・地球の環境は悪くなるばかりですのところで</p>	<p>・形式段落⑧を筆者の考えが書かれている段落と想定し、視写する。</p> <p>・想定した筆者の考えを確かめていくという学習の方向性をつかませる。</p> <p>・活動(原因)と影響(結果)という視点を示し、4つの事例をまとめられるようにする。</p> <p>・活動については、カードを並べることとし、影響について読み取ることに重点を置く。</p> <p>・事例の段落と筆者の考えの段落を、板書を使って結び、関係を視覚的にとらえるようにする。</p> <p>・「言いかえれば」という言葉に着目し、筆者の考えが繰り返し述べられ、強調されていることに気付かせる。</p> <p>・環境の悪化が人類の存続を危う</p>

	<p>(2) 筆者の考えを読み取る。 ○生きていけるかどうかさえあやぶまれているというのは、本当だろうか。</p>	5分	<p>す。 ・人類が生きていけるかどうかさえあやぶまれているところです。 ・本当だと思います。わけは、気温がそのまま上がっていったら生きていけないからです。</p> <p>&lt;判断基準&gt; (ノート) A 人類の活動が地球環境の悪化を招き、それが、人類に影響を及ぼすことを事例をもとに具体的に書いている。 B 地球環境の悪化が、人類に影響を及ぼすことを事例をもとに具体的に書いている。 C 事例の具体的な影響に着目できずに、考えを書けないでいる。</p>	<p>くしているという筆者の考えをとらえさせるために、人類が生きていけるかどうかを事例をもとに考え、ノートにまとめさせる。</p> <p>Cへの配慮 人類存続の危機のわけをとらえさせるために、板書の具体的な影響に着目するように助言する。</p>
まとめる	<p>6 学習のまとめをする。 ○最後に、筆者の考えを読みましょう。</p>	2分	<p>・(視写文を音読する。)</p>	<p>・板書全体を確認し、視写文を音読する。</p>